

From たんぼぼ舎
To kumamoto84@yahoo.co.jp
受信日時 2022/06/22 水 17:36

たんぼぼ舎です。【TMM:No4513】地震と原発事故情報- 5つの情報をお知らせします

たんぼぼ舎です。【TMM:No4513】
2022年6月22日(水)地震と原発事故情報-
5つの情報をお知らせします
転送歓迎

-
- ★ 1. 「福島第一原発を困んだ中間貯蔵施設の不条理」
「30年以内の事業終了の約束を守れ」
「公共事業のルールによる用地補償を求める」
門馬好春（30年中間貯蔵施設地権者会会長）
 - ★ 2. 福島県の内堀雅雄知事にはALPS処理汚染水
海洋放出を止める権限があります
東電から出されている海洋放出のための
工事の事前了解をしなければ良い
「6.21県庁前で訴えよう!内堀知事、みんなの海をまもって!」
福島県庁前集會に参加 冨塚元夫（たんぼぼ舎ボランティア）
 - ★ 3. 「知事は美しい海を守って」処理水を海洋放出しないよう
求め福島県庁前で集會...
メルマガ読者からの原発等情報1つ(抜粋)
黒木和也(宮崎県在住)
 - ★ 4. メルマガ読者からのイベント案内(お問い合わせは主催者へ)
 - ◆6/26(日)オンライン連続講座 講師:能川元一
「『歴史戦』、WGIP...歴史修正主義運動のいま」
 - ◆7/9(土)活動報告&カテリーナ・チャリティコンサート
「未来の福島こども基金」報告:黒部信一、佐々木真理
 - ★ 5. 新聞より1つ
 - ◆原発事故避難者訴訟、9月に福島地裁に追加提訴へ
「最高裁判決覆す」 (6月21日「産経新聞」より抜粋)

※お知らせ (金曜官邸前行動)

8月の「原発いらない金曜行動」の開催日は、第4金曜日の
8月26日になります。

定例は第3金曜日ですが、8月19日(金)は「総がかり行動」があり
ますので、日程を変更しています。

一部お知らせで8月19日(金)と告知したものがありますので、訂正を
お願い致します。

※6/27(月)海渡雄一弁護士の学習会にご参加を!

徹底解説「経済安全保障推進法」危険な現代の国家総動員法

お 話 : 海渡雄一弁護士

日 時：6月27日(月)18時より21時

会 場：「スペースたんぽぽ」講師のお話は18時30分からです。

参加費：800円 予約必要です。定員25名。

たんぽぽ舎あて電話 03-3238-9035か 「ヤフーメール」
<tanpopo3238@yahoo.co.jp> で、ご氏名と電話番号を
お知らせ下さい。受付番号をお伝えいたします。

※7/6(水)2つの申し入れ・抗議行動にご参加を！

2つの行動 = 定例は第1水曜です

1. 第48回とめよう！東海第二原発

20年運転延長・再稼働ゆるすな！ 日本原電本店抗議行動
茨城県東海第二原発の再稼働工事を止めよ！

日 時：7月6日(水)17:00より18:00 (夏時間です)

場 所：日本原電本店前(住友不動産秋葉原北ビル 台東区上野5-2-1)

銀座線末広町駅4番出口より4分

※北ビルです！南ビルではありません！

主 催：「とめよう！東海第二原発首都圏連絡会」

TEL 070-6650-5549

協 力：「再稼働阻止全国ネットワーク」

☆第49回は、8月3日(水)です。(定例は毎月第1水曜)

2. 「第106回東電本店合同抗議」放射能汚染水を海へ捨てるな！

東電は2200億円の原電支援するな！

東電は福島第一原発事故の責任をとれ！

日 時：7月6日(水)18:45より19:45 (夏時間です)

場 所：東京電力本店前(千代田区内幸町1-1-3)

呼びかけ：「経産省前テントひろば」070-6473-1947

「たんぽぽ舎」03-3238-9035

スピーチ：乱鬼龍さんが「原発が原爆になるおそろしさ」川柳を
詠んだ目的を語ります。

スピーチ：山崎久隆さんが「電力逼迫問題報道の誤り」

「原発推進のためには電力危機さえ演出する政府」に
ついて提起します

賛 同：東電株主代表訴訟など141団体

☆8月は、3日(水)第107回です。(定例は毎月第1水曜)

※7/9(土)高橋博子さんの学習会にご参加を！

「被ばくの戦後史」

お 話：高橋博子さん(奈良大学教授・文化史学)

日 時：7月9日(土) 13時30分より17時

会 場：「スペースたんぽぽ」講師のお話は14時30分からです。

参加費：800円 予約必要です。定員25名。

6月27日と同じ予約方法です。



1. 「福島第一原発を困んだ中間貯蔵施設の不条理」

| 「30年以内の事業終了の約束を守れ」

「公共事業のルールによる用地補償を求める」
門馬好春（30年中間貯蔵施設地権者会会長）

- ◎ 2011年3月の福島第一原発事故から11年を経過致しました。
国などは復興があたかも進んでいるように公報しております。
しかし、真の復興は福一原発の廃炉完了とそれを取り囲む中間貯蔵施設の終了があって、初めて真の復興がスタートすることになります。

- ◎ 中間貯蔵施設は福一原発と同じく大熊町と双葉町にまたがり、南北7.5 km、面積1600ヘクタール、民有地が約8割を占めております。
ここに原発事故前は約3000人が住んでいました。
しかし、国も東京電力も事故前、原発事故は絶対がない、ありえないと言いつけていました。
しかし、悲惨な大事故は起きました。
福一原発の大熊町側には昭和15年に陸軍警城飛行場が建設されました。
私の祖父母、父たちは2号機の西側に住んでいましたが、他の住民の方々と共に強制的にすまいを追われました。
しかし絶対には勝つとの戦争は負け、絶対に事故はないという原発は事故を起こしました。

- ◎ その後、今度はさまざまな国の「お願いという形での強引な進め方」により2015年から2045年までの30年間の中間貯蔵施設事業「原発事故で県内にまかれた放射能で汚染された土壌等の保管」が始まりました。
30年以内に県外最終処分場に中間貯蔵施設に集めたごみを搬出して事業が終了する法律「ジェスコ法」を改定しております。

- ですが、一番難しいこの県外最終処分場建設に向けた取り組みは、事業開始7年3カ月が過ぎてもまったく国・環境省は進めていません。
当30年地権者会は始めから国・環境省に対してこの一番難しい取り組みを進めることを要求してまいりました。
しかし、国・環境省は汚染土の全国再利用に力を入れるばかりです。
環境省との団体交渉等を重ねるたびに国の逃げ道、抜け道、時間稼ぎを強く感じます。

- ◎ そもそもこの施設「30年間の仮置き場」をなぜ、全面国有地化方針でスタートしたのか、その後公共事業の国の土地使用ルール（損失補償基準要綱）に書いていない地上権を勝手に作り出したのか、環境省の用地交渉で買収を最優先した交渉をしてきたのか、当初環境省が提示した契約書は30年後還さなくてもよいような内容「第20回目の団体交渉で見直し済み」だったのか、いろいろな不信感が湧くように出てきています。

- ◎ さらにルールにない地上権としたことで、先祖伝来の土地を福島復興のために協力した地権者を裏切った不公正・不公平な補償となっています。
これではまるで陸軍警城飛行場と同じです。

- また仮置き場の補償はルールの地代ですが、この仮置き場の4年半の地代累計額（田千平方メートル850円）より30年間の中間貯蔵施設の地上権価格（田千平方メートル840円）が低額です。無茶苦茶です。
今後も30年以内の事業終了の約束を守ることと、公共事業のルールによる用地補償を求めてまいります。

たった一回の悲惨な福一原発事故により、多くの方々が苦しみ、ひへいしています。

□

■ 2. 福島県の内堀雅雄知事にはALPS処理汚染水

- | 海洋放出を止める権限があります
 - | 東電から出されている海洋放出のための
 - | 工事の事前了解をしなければ良い
 - | 「6.21県庁前で訴えよう!内堀知事、みんなの海をまもって！」
 - | 福島県庁前集会に参加
- └── 冨塚元夫（たんぽぽ舎ボランティア）

◎ 6月21日(火)参加者は約100人でした。集会は11時30分から13時まで、その後14時からアオウゼ多目的室で報告会がありました。

「福島県の内堀雅雄知事には、ALPS処理汚染水海洋放出を止める権限があります。東電から出されている海洋放出のための工事の事前了解をしなければ良いのです。」

呼びかけ人は（敬称略）大河原さき、織田千代、片岡輝美、澤井正子、千葉由美、橋本あき、満田夏花、武藤ルイ子、谷田部裕子の9人でした。

◎ この日は県議会の初日で知事だけでなく県議会議員もいるために県庁の前で訴えました。

「海をこれ以上汚さないで！汚染水の放出を承認しないで！」

京都から駆けつけた宇野さえこさんは、2010年にやはりこの場所で集会に参加したそうです。そのときは福島県が福島原発のプルサーマル発電を認めるかどうか問題だった時で、知事は佐藤雄平氏で内堀雅雄氏は副知事でした。

県のプルサーマル発電承認が翌年の事故につながったという苦い思い出があります。

久しぶりのシュプレヒコールもありました。「内堀知事はみんなの海を守ってください！汚染水放出工事の認可をしないでください！」

替歌も歌いました。「海は広いな大きいな、月のはのぼるし日が沈む、海でつながるこの世界 流すな原発汚染水」

◎ 報告会でも多くの方が発言しました。

11年前の原発事故に国と東電に責任があるが、佐藤雄平にも内堀雅雄にも責任があるという発言もありました。

小児甲状腺がん患者を支援している「あじさいの会」の千葉さんは、先日の甲状腺がん裁判のときの様子を話してくれました。あの原告の陳述は他の原告も法廷で聞いていたそうです。姿かたちはわからないようついでで隠されていたそうです。陳述を聞いていた傍聴人はすすり泣きしましたが、他の原告は大泣きしたそうです。それを聞いて裁判所の職員が「ごめんね、ごめんね」と言っていたそうです。

◎ 「いわき放射能市民測定室たらちね」のボランティア測定員の方が発言し「国はトリチウムは弱い放射線で問題ないといっているが、大嘘だ。ベータ線は近距離しか飛ばないと言っても、口から入れば内部被ばくし近距離の細胞を攻撃する。特に脳細胞と生殖細胞がやられる。発達障害や免疫不全などがおこる」と言っていました。

「たらちね」は汚染水が放出される前に魚類の放射能濃度のデータを

急いで集めようとしています。そのデータを放出後のデータと比較するためです。

この作業は本来は東京電力と国が行うべきことですが、規制委員会の審査書案を読んでもどこにも書いてありません。欠陥審査書です。

パブコメは締め切られましたが、これからも審査書は欠陥だらけだと言いつけましょう。



- 3. 「知事は美しい海を守って」処理水を海洋放出しないよう
| 求め福島県庁前で集会...
| メルマガ読者からの原発等情報1つ(抜粋)
└── 黒木和也 (宮崎県在住)

1. 「知事は美しい海を守って」処理水を海洋放出しないよう
求め福島県庁前で集会

6/21(火)19:03配信「テレビユー福島」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/342be7f5a1b825cae275d6cbc68cfd15daf70ee6>



- 4. メルマガ読者からのイベント案内(お問い合わせは主催者へ)
└──

- ◆6/26(日)オンライン連続講座
「『歴史戦』、WG I P...歴史修正主義運動のいま」

日 時：6月26日(日)14～16時

講 師：能川元一

お申込み・詳細：<https://b1fz2022.peatix.com/>

主 催：ふえみ・ゼミ femizemi2017@gmail.com

インターネットにおけるヘイトスピーチは深刻な人権侵害です。ヘイトスピーチの対象者と攻撃を分析すると、政治的右派の運動との結びつきを見出すことができます

本講座では、主に歴史修正主義をとりあげながら、右派運動の動向と論点に着目し、ヘイトスピーチの背後にある論理を明らかにしていきます。

※この講座は、【連続講座：右派運動とインターネットのヘイトスピーチ】の第4回目です。

すでに終了した回は「録画配信」で視聴可能です

- ◆7/9(土)活動報告&カテリーナ・チャリティコンサート
「未来の福島こども基金」

日 時：7月9日(土)14:00 第1部

活動報告 黒部信一 (未来の福島こども基金 代表/小児科医)

ウクライナ支援報告 佐々木真理

(チェルノブイリ子ども基金 事務局長)

15:00 第2部 ♪カテリーナ コンサート (バンドウーラ&歌) ♪

会 場：「スペースオルタ」オンライン同時開催

7/9イベントの連絡先：event@fukushimachildrensfund.org

主催：未来の福島子ども基金 090-3539-7611

詳細は <https://fukushimachildrensfund.org/>

メールアドレス：info@fukushimachildrensfund.org

- ・チケットは、オンラインチケット販売サービスPeatix (ピーティックス) から購入いただけます。 <https://kateryna.peatix.com/>
 - ・会場参加の方は電話でも受け付けます。
 - ・チケットをご購入の方は、イベント終了後3日間(見逃し対応)アーカイブ動画をご覧ください。
- 参加費：1,500円

5. 新聞より1つ

- ◆原発事故避難者訴訟、9月に福島地裁に追加提訴へ
「最高裁判決覆す」

東京電力福島第一原発事故で避難した住民らによる集団訴訟で、最高裁が国の賠償責任を認めない判決を出したことを受け、原告らが21日、福島県庁で記者会見した。

代理人の馬奈木巖太郎弁護士は「国の言い分が完全に認められたわけではない」と述べ、最高裁の判断を覆せる余地があるとして、9月にも福島地裁に追加提訴する方針を明らかにした。(後略)

(6月21日「産経新聞」より抜粋)

<https://www.sankei.com/article/20220621-M72L373SRNKM3JDG3YIHLHDSNY/>

※動画アップの紹介 三輪祐児さんのユーチューブより

- ・20220616 UPLAN 内田雅敏弁護士「新大統領 尹錫悦政治の韓国」
<https://www.youtube.com/watch?v=5MppMbNbKjk>
- ・20220523 UPLAN 安田節子「子どもの健康と農薬汚染・その2」
<https://www.youtube.com/watch?v=wEYfpFojx6k>
- ・20220521 UPLAN 渋谷徹「化学物質とエピジェネティクス」
https://www.youtube.com/watch?v=eOcr_8VRIAE
- ・20220520 UPLAN 第12回原発いらない金曜行動
<https://www.youtube.com/watch?v=T04eteLmV5Q>
- ・20220511 UPLAN 第104回東電本店合同抗議
<https://www.youtube.com/watch?v=iuwtYhEJNB0>
- ・広瀬隆「二酸化炭素によって地球が温暖化しているという説は科学的にまったく根拠がないデマである」
20220127 UPLAN 【総集編・全編6時間】
<https://www.youtube.com/watch?v=K14tki8e2Ck>

☆ひきつづき、たんぼぼ舎の活動・日刊メルマガ＝「地震と原発事故情報」へのカンパを受け付けていますので、よろしくお願い致します。

郵便振込 加入者名 たんぼぼ舎 口座番号 00180-1-403856

☆《事故情報編集部》より
メールマガジン読者からの集会・デモ・講演会のお知らせ、その他

投稿(「川柳・俳句・短歌」など)を歓迎します。

1. 「投稿」のテーマは、「原発問題」が中心軸ですが、エネルギー、自然、政治・経済、社会、身近な生活も歓迎します。
2. 原稿に「見出し」をつけて下さい。(「見出し」は1行見出しよりも2行又は3行見出しの方が読む人にとってわかりやすい) 執筆者名(基本的に本名でお願いしています)と執筆者名の後にかっこ書きで「所属・団体名」か「在住県名」を記載して下さい。
例：たんぽぽ花子(たんぽぽ舎)、
たんぽぽ太郎(東京都千代田区在住)
3. 「集会・デモ・講演会等のお知らせ」の投稿に関しては、どの団体・グループも平等に掲載する基本方針です。そのため日時、会場、タイトル及び内容、主催者、主催者の連絡先など必要事項を400文字以内でお送り下さい。件名に「イベント案内掲載希望」と明記して下さい。日程が直前にならないよう余裕を持っていただけると幸いです。メールマガジンへのイベント案内は1回だけの掲載とさせていただきます。
4. 集会や行動の参加報告等に関しては600文字以内で、タイトル(見出し)及び本文をお送り下さい。件名に「メルマガ掲載希望」と明記して下さい。

「投稿」の送付先はたんぽぽ舎の通常アドレス「nonukes@tanpoposya.net」か、別アドレス <tanpopo3238@gmail.com> です。なお、お送り頂いた投稿は紙面の都合上掲載できない場合があります。ご了解下さい。

-
- ◆このメールマガジンのバックナンバーは、ホームページの「メルマガ：地震と原発事故情報」をご参照下さい。
 - ◆メールマガジンをお送りします
たんぽぽ舎では、「地震と原発事故情報」(メールマガジン)を発信しています。
ご希望の方は、件名を「アドレス登録希望」として、ご自身のEメールアドレスからご氏名とともにたんぽぽ舎あてにメールを送ってください。
違うアドレスから「こちらのアドレスに送って」ということは間違いの元となりますのでやめて下さい。
登録できしだい発信致します。
 - ・配信先のアドレス変更のご連絡は「旧アドレス」もお知らせ下さい。
 - ・配信削除につきましても以下のアドレスに直接メールを下さい。
たんぽぽ舎の通常アドレス「nonukes@tanpoposya.net」か、別アドレス <tanpopo3238@gmail.com>へお送り下さい。
 - ◆携帯電話への送信は、容量が多いためか全文表示できない例があります。

たんぽぽ舎は、月曜～土曜13:00～20:00オープン、
日曜・休日はお休みです。

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-1
高橋セーフビル1F

TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797

H P <http://www.tanpoposya.com/>

郵便振込 加入者名 たんぽぽ舎

口座番号 00180-1-403856

© Yahoo Japan